

東京 広告 協会報

2021
VOL.
123

TOKYO ADVERTISING ASSOCIATION (TAA)

発行 公益社団法人東京広告協会
東京都中央区銀座7丁目4番17号 電通銀座ビル7階
TEL.03(3569)3566 FAX.03(3572)5733
E-mail info@tokyo-ad.or.jp

<http://www.tokyo-ad.or.jp>

INTERVIEW

TAAサロン

あの人にきく



株式会社サイバーエージェント
常務執行役員

内藤 貴仁さん

2001年サイバーエージェント新卒入社。2010年にインターネット広告事業本部の統括本部長を経て、同年サイバーエージェント取締役就任。現在はアドテクノロジーとAIの研究・開発を担うAI関連事業と、オペレーション事業・クリエイティブ事業を統括。2020年にサイバーエージェント常務執行役員に就任。

インターネット広告市場の成長とともに、事業を拡大。

インターネットに人生をかけてみたい

……ご入社は2001年、サイバーエージェントの創業（1998年3月）から3年目ですね。創業当初から、その存在に注目されていたのでしょうか。

大学3年（1999年）の秋に就職活動をスタートさせた当初から、この会社に入りたいと思っていました。もともと広告の仕事を目指していましたが、当時はネットバブルでインターネット市場がとても盛り上がっていたので、自分もインターネットに人生をかけてみようと思ったのです。それで、インターネット広告しかできない会社を選ぼうと決めていました。内定をいただいた時はすごく嬉しかったですね。

入社して約2年はクリエイティブの仕事で、バナー広告やテキスト広告のコピーを書いたり、アイデアを出したりしていました。インターネット広告といっても当時はまだまだ、テレビ、新聞、雑誌などの広告を、早く、安くいただけ、という感じのものが多かったのですが、そのような状況を一変させたのが、グーグルの広告の登場でした。2003年頃だったと思いますが、いわゆる検索連動型のリスティング広告が出てきた時です。

それまでのインターネット広告は、公開される約2週間前に入稿して、公開されたらもう一切手をつけられない、というものでしたが、リスティング広告はオークションのシステムで、入札金額を10円から11円にしたり、広告内容を変えたりと、毎日のように手をかけないといけないものになってきたわけです。“まさにインターネットっぽい”というか、“これまでとはぜんぜん違うマーケットになった”という印象を強く受けました。

消費者の購買欲求に直結しているため、頑張れば効果も上がっていく、ということで、会社がリスティング広告のための子会社を作り、私もそこに異動しました。検索ワードの15文字くらいを対象とする仕事は、クリエイティブの仕事からすれば、面白みが薄れるかもしれませんが、私はその仕組みの方にとても面白さを感じ、仕事に没頭していきました。

インターネット・マーケティングの成長性を重視し、積極的に事業拡大を図る

……その後も、広告運用の強化を図るために、連結の子会社が次々と設立されていくわけですね。

入札する人、原稿を変える人、入稿する人、その舞台をどんどん作っていきこうと、まず2008年に運用業務を行う連結子会社を沖縄に設立しました。さらにその後、仙台(2013年)とベトナム(2014年)にも子会社を設立しました。並行して2011年頃からは、それらをシステム化しようということになり、組織として「エンジニアリング」をもって技術力の向上を目指すようになりました。今では社内の広告部門に約300人の技術者が在籍しています。もちろん、以前からゲームやアメバブログなどのメディアを作っていたので、社内にエンジニアはいましたが、広告会社として技術力を保有していったという意味においては、他社より少し早かったといえるかもしれません。

徐々にターゲティングができるようになってくると、全ての人に同じクリエイティブを配信するわけにもいなくなってきました。個別に作っていくとパフォーマンスもそれだけ上がるので、今度はその分のクリエイティブが必要になり、技術力に続いてクリエイティブを作る力を強化していきました。

そして、それらの効果を上げるためにもAIの必要性を強く感じるようになり、2016年からは経済学者や大学の准教授など、AIの研究者を次々と採用していきました。そのように私自身の仕事としては、この約10年で、まずオペレーションする力を上げ、その後、技術力とクリエイティブの強化をはかり、その後、AIの活用を進める、という具合に、会社の能力を拡張することに関わってきました。通常の会社では営業さんがいて、マーケターがいて、クリエイティブ担当がいて、という感じだと思いますが、私たちの場合は、オペレーションとエンジニアと研究者の割合がとても高い広告会社になっていると思います。

いち早くAIの活用を推進

……コロナ禍が及ぼした影響として、デジタルを駆使したサービスを提供するところは確実に市場が伸びたといわれていますが、ご自身は今どの状況をどのように捉えていますか？

コロナ禍になって、広告だけではなく、ビジネス自体のデジタル化という、さらなる新しい波が一気に来ていると感じています。この1、2年、DXに関する事業が増えてきて、社内でもその部門を強化しています。現在、EC化率が一番高いとされる企業でも約10パーセントですが、各企業とも20パーセント、30パー

セントを経営目標に掲げ、そこに向かっていこうとしている流れがきています。以前から、おそらく数年以内にビジネスのデジタル化が進んでいくだろうと予測して、我々もそこに対応すべく、技術者を増やすなど準備はしていたのですが、あっという間に、3年、5年前倒しできてしまった、というのが実感です。

私はAI事業本部の発足時(2019年9月)の責任者でもありますが、現在、持っているAI技術で、かなりの見通しが立ってきている部分もあります。私の予測では、グーグルのテキスト広告のようなものと、AIがサイトを見に行き、要約文を作り、それを予測機にかけ続けながら、いいものができたらそれを入稿する、ということが、近いうちになんかシステム的にできるようになると思っています。

動画の制作においても、人間をスキャンしたり、写真を掘り起こしてもう一人の自分をデジタルで作ることは既にできていて、その人の動きや声、背景までディープラーニングを使って作ることが、数年内にできるようになります。たとえばプロスポーツ選手はシーズン中に稼働ができないので、もう一人の自分が広告に出たりするようなことができるわけです。実際に、世界的に有名なプロサッカー選手で、既に全身のスキャンを終えている人もいます。

また、私自身、AI技術について学ぶために人工知能学会や言語処理学会に発表を聞きに行ったり、共同研究をしている大学に月1くらいのペースで通い、教授と話したり、アイデアを出し合ったりすることも続けています。

……とてもお忙しいようですが、リフレッシュのために何かされていることはありますか？

歩くのが好きなので、週末の夜には2時間くらい徘徊しています。でも、歩きながら次の週の予定を思い出し、頭に入れたりしているので、リフレッシュとはいえないかもしれません。本は昔から好きで、19歳くらいから30代半ばまでは月に約50冊、読んでいました。小説、ノンフィクション、実用書、なんでも読みます。コロナになって会食がなくなったので、その分、また本を読む時間ができてきました。デジタル書籍ではなく、もっぱら紙の本です。線を引いたりしながら読むことが多いので、二度目に読むときにも効率がいいし、本は紙がいいですね。

(インタビュー・文 牧野容子)

活動報告

第69回全日本広告連盟山陰大会開く

第69回全日本広告連盟山陰大会(主催:同大会組織委員会、(公社)全日本広告連盟)が、大会テーマ『ヤオヨロズの英知でつくる広告新話～山の陰から創造の光を～』のもと、5月20日、松江市の島根県民会館で開かれ、現地参加登録者は118名に留まったが、オンライン視聴回数(※)は公開期間中2,096に上った。※システム上の計測値。

大会午前中には、初めての試みとして分科会が開催され、寺本英仁氏(島根県邑南町役場商工観光課長)と西原史郎氏(㈱ぐるなびプロモーション事業部食と観光企画部長)が「地方創生=地域資源を生かした「食」で町おこし」のテーマで対談し、ライブ配信も行った。

また事前収録された佐藤雅彦氏(東京藝術大学大学院教授、クリエイティブディレクター)と高崎卓馬氏(クリエイティブディレクター)による「クリエイティビティ=新しい分かり方、伝え方」、田中道昭氏(立教大学ビジネススクール教授)による「地域メディア・広告業のDX戦略策定ワークショップ」の2分科会が配信された。

昼食をはさみ、大会式典が開演。オープニングアトラクションでは出雲市出身のオペラ歌手・錦織健氏が力強い歌声を披露した。

真鍋和彦全広連山陰大会副会長が開会宣言を行った後、松尾倫男大会会長が、「本大会をクリエイティブの面白さ、力強い世界観をもった広告が新しい社会を切り開くきっかけにしたい」と歓迎挨拶を行った。



松尾山陰大会会長

続いて、大平明全広連理事長が登壇。「山陰の地での議論で湧き出た知恵を発信し、全国各地の参加者に共有すれば有意義な大会になると信じている。全広連は、引き続き『広告の元気は、ニッポンの元気。』をスローガンに掲げ、各種事業に取り組んでまいりたい。」と大会挨拶を行った。



大平全広連理事長

来賓の丸山達也島根県知事、平井伸治鳥取県知事がそれぞれ祝辞を述べた。

「第15回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」が新潟日報社「にいがた 希望の花火」打ち上げプロジェクト、

同選考委員会特別賞は、山陰中央新報社「Think local.」に贈られた。

「第15回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞」最優秀賞は島根県「早く会いたいけん、今は帰らんでいいけんね。早く会いたいけえ、今は帰らんでいいけえね。」に贈られた。同優秀賞はオリックス不動産「京都水族館リニューアル広告『変態完了』」に贈られた。

「第9回全広連日本宣伝賞」各賞は、松下賞が井上眞氏(大塚製薬㈱代表取締役社長)、正力賞が増田宗昭氏(カルチュア・コンビニエンス・クラブ㈱代表取締役社長兼CEO)、吉田賞が藤重貞慶氏((公社)ACジャパン理事長、(公社)日本マーケティング協会会長、(公財)日本卓球協会会長、ライオン㈱特別顧問)、山名賞が佐藤雅彦氏(東京藝術大学大学院教授、クリエイティブディレクター)へ贈られ、各受賞者のビデオメッセージが紹介された。



会場内の全広連日本宣伝賞パネル

パネルディスカッションは『持続可能な地域社会のカタチ～いまこそ語りたい日本の「根本問題」』をテーマに開かれ、藻谷浩介氏(㈱日本総合研究所主席研究員)は現地にて登壇、デービッド・アトキンソン氏(㈱小西美術工芸社代表取締役社長)、樋口景一氏(㈱電通グループ電通ジャパンネットワーク執行役員)の両氏はオンラインで出演し、地域課題解決への方策などについて意見交換を行った。



パネルディスカッションの様子

続いて、久住昌之氏(マンガ家・ミュージシャン)が「孤独のグルメ山陰篇」のテーマでトークショーを行い、自身の食へのこだわりを語った。

最後に、来年5月の第70回全広連沖縄大会開催に向けて石嶺伝一郎沖縄大会会長の挨拶を玻名城泰山副会長が代読し大会への参加を呼び掛け閉会となった。

翌日は視察・見学会が実施され、島根、鳥取両県の文化・歴史、自然などを体感した。懇親ゴルフ会は、大山平原ゴルフクラブにて行われた。

【第1回特別講演会】小泉文明氏(株メルカリ、(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー)が講演

令和3年度第1回特別講演会を、6月1日より14日までWEB公開した。小泉文明氏(株メルカリ取締役President(会長)兼(株)鹿島アントラーズ・エフ・シー代表取締役社長)が「DX時代のサッカークラブ経営と今後の展望」を演題に講演し、約400名が聴講した。

小泉氏は、2019年にメルカリが鹿島アントラーズの株主になった理由について「一つは両者のユーザー属性の違いによる補完関係を築くため。次にブランドの確立。メルペイというキャッシュレスサービスを始めるタイミングだったため、ブランドとしての信頼感の醸成が必要だった。あと、ビジネス機会の創出。これから週休3日制など余暇が増えていくと、5G、VRなどの技術進化によるエンタメの楽しみ方が無限大に広がり、市場も拡大傾向になるとみている。」と語った。また、アントラーズの組織改革について「意思決定のスピードを早めるために組織の階層をシンプルにして権限を委譲した。DXの前にCXをすることが大事だ。CXのCはカンパニー。旧体制でDXを入れようとしても階層が変わっ

ていないので、本質的には何も変わらない。まず、カルチャーや階層をどう変えるのかというビジョンがとても大事だ。」と述べた。チームの取り組みについては、「地元の競争力をあげていきたい。ホームタウンの魅力的なコンテンツをどう発信して多く



小泉 文明氏

の人にきてもらうか。交流人口の増加を狙い、コト消費ができる農業体験、キャンプ場の拡充などのコンテンツを計画している。新たな価値を再整備して移住定住を選択していただけるような街にしていきたい。スポーツチームがスポーツだけしていればよい時代は終わり、どう存在価値を再定義できるかが重要になっている。テクノロジーを活用して、多くのステークホルダーをハブとしてつなぎ収益をあげ、地域が元気になるライフスタイルを提供していければ、アントラーズがこれからも強いチームで居続けることができると考えている。」と結んだ。

【広告未来塾】第4期終了

「広告未来塾」第4期が、古川裕也氏(株電通 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)を塾長に、テーマ「Creativityの力でできないことなんかひとつもない」のもと、2020年11月から開催され、4月6日に全6回のカリキュラムを終了した。実開催とオンラインライブ配信を併

用し、計78名が参加した。

受講生からは、「これからのクリエイティブがどうなるかではなく、自分たちが広告の仕事で培ってきた能力で何ができるかを考えるべき、という言葉が心に響いた」などの感想があがった。

インフォメーション

総会・理事会・委員会開催報告と今後の開催スケジュール

4月12日(月) 広報委員会	6月11日(金) 法務政策委員会	9月9日(木) 業務委員会
4月13日(火) 業務委員会	6月17日(木) 業務委員会	9月10日(金) 法務政策委員会
4月14日(水) 法務政策委員会	6月18日(金) 広報委員会	9月13日(月) 広報委員会
4月19日(月) 総務委員会	6月21日(月) 総務委員会	9月16日(木) 総務委員会
4月22日(木) 定例理事会	6月23日(水) 臨時総会、定例理事会	9月29日(水) 臨時総会、定例理事会

新理事 (敬称略、順不同)

6月23日開催の臨時総会において、理事3名の選任が異議なく承認された。

今村 恵三 キリンビール(株) マーケティング部部長兼宣伝担当メディアグループ統括
 相川 貴之 パナソニック(株) コーポレート・コミュニケーション部部長
 多田 英孝 (株)博報堂DYホールディングス 執行役員